

# 山陽小野田市誕生10周年記念事業報告書



ひび あ ひと じゅうねん そうぞうみらい しんこきゅう  
響き合う 人・まち・10年 創造未来へ新呼吸

平成28年2月

山陽小野田市

# 目 次

## I 概要

1 趣旨	1
2 実施期間	1
3 シンボルマーク・テーマメッセージ	1
4 実施・推進体制	2
5 広報・啓発活動	4

## II 主な事業

1 プレイベント	7
2 市民ふれあいの集い	7
3 市民主催事業	7
4 市主催事業	8
5 冠事業	9
6 協賛事業	10

## III 実施報告書

市民ふれあいの集い	11
実行委員会主催事業	13
ユース会議事業	15
市民主催事業	
○竜王山公園桜祭り・竜王山植樹祭	17
○『復活！住吉まつり』	19
○第3回山陽小野田市民カーニバル	21
○ <b>祝</b> 誕生10周年10のイベント	23
○山陽小野田市で生まれた太鼓とガラスのコンサート 「With～心と音をつないで～」	25
市主催事業	
○花いっぱい運動	27
○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業	29
○特別展『幕末の女と男 山陽小野田編』	31
○セルゲイ・ナカリヤコフリサイタル	33
○第28回全国健康福祉祭山口大会 山陽小野田市特別表彰事業	35
○ぐるーっと山陽小野田ウォーク	37
○出張！なんでも鑑定団 in 山陽小野田	39
○第6回SOS健康フェスタ	41
○NHK公開番組「NHKのど自慢」	43

# I 概要

## 1 趣旨

平成27年3月22日に市制施行10周年を迎えるにあたり、この節目となる機会をとらえ、新市誕生から10年の本市の軌跡を振り返るとともに、将来に向かって市民が一体となり、躍動感あふれるまちづくりにつながる仕掛けとなる市誕生10周年記念事業を実施する。

## 2 実施期間

市誕生10周年記念の日	平成27年	3月22日	
事業期間	平成27年	1月1日～12月31日	
〔プレイベント期間〕	平成27年	1月1日～3月21日	〕
〔メインイベント期間〕	平成27年	3月22日～12月31日	

## 3 シンボルマーク・テーマメッセージ

市誕生10周年記念事業を実施するに当たり、市民の一体感の醸成を図るとともに、市の知名度のアップを図るため、記念事業にふさわしいシンボルマーク・テーマメッセージを公募した。

### (1) シンボルマーク

応募作品32点の中から採用した。

(採用作品)



作者：梶山康太（市内）

#### 【作品の説明】

10周年の0の文字を夕日（焼野海岸）に見立ててキャラクター化し、自然があふれることはもちろん、それだけでなく文化や工業も活発であることをさまざまな色や形を散りばめることで表し、自然とふれあい活力あるまちであることを表現。

採用作品（最優秀賞）のほか、優秀賞2点を決定した。



作者：塩崎エイイチ



作者：北野公一

(2) テーマメッセージ

応募作品 17 点の中から採用した。

(採用作品)

ひび あ 響き合う ひと 人・まち・10年 じゅうねん そうぞう みらい 創造未来へ しんききゅう 新呼吸

作者：駒井 瞭（東大阪市）

【作品の説明】

10周年誕生のよるこびに市民は一つの輪となりまちは感動波打ち響き合い、これを機会にさらに創造都市は新たな未来へ躍動の深呼吸を高め発展を力強く目指す。

採用作品（最優秀賞）のほか、優秀賞2点を決定した。

夢を育む街 山陽小野田市 10周年 ～そして未来へ 作者：植田徳明

次の10年100年へ ここはすみよい 山陽小野田市 作者：久保信行

4 実施・推進体制

(1) 実行委員会

ア 目的

市民の意向を市誕生10周年記念事業に反映し、市民の一体感の醸成と記念事業の気運の高揚を図る。

イ 任務

実行委員会主催事業の実施、市民主催事業の選考及び協賛事業の認定

ウ 会議

平成26年9月から平成28年2月にかけて会議を6回開催した。

エ 委員

No	役職	氏名	所属
1	会長	白井博文	山陽小野田市
2	副会長	尾山信義	山陽小野田市議会
3	副会長	平中政明	山陽小野田市体育協会
4	監事	石田英子	小野田商工会議所
5	監事	枝村厚	公募市民
6	委員	小松文子	山陽商工会議所
7	委員	岡本志俊	山陽小野田市自治会連合会
8	委員	水田三代春	山陽小野田市自治会連合会
9	委員	石川宜信	山陽小野田市ふるさとづくり協議会
10	委員	千々松正俊	山陽小野田市ふるさとづくり協議会

No	役職	氏名	所属
11	委員	守田節子	山陽小野田市老人クラブ連合会
12	委員	笹尾新太郎	山陽小野田市老人クラブ連合会
13	委員	半矢幸子	山陽小野田市女性団体連絡協議会
14	委員	森本哲子	山陽小野田市女性団体連絡協議会
15	委員	伊藤紀	山陽小野田市子ども会育成連絡協議会
16	委員	森田純一	山陽小野田市社会福祉協議会
17	委員	恒松恵子	山陽小野田観光協会
18	委員	原孝造	山陽小野田市国際交流協会
19	委員	瀬口哲義	山陽小野田市文化協会
20	委員	石田武司	公募市民

## (2) ユース会議

### ア 目的

市誕生10周年に際して若者主体の事業を実施し、もって山陽小野田市の活性化と次代を担う若者の育成を図る。

### イ 任務

ユース会議事業の実施及びシンボルマーク・テーマメッセージの決定

### ウ 会議

平成26年7月から平成27年3月にかけて会議を12回開催した。

### エ 委員

No	役職	氏名	所属
1	座長	田中健一	小野田商工会議所青年部
2	副座長	阿部友香	山陽小野田市役所
3	監事	滝将彦	一般社団法人小野田青年会議所
4	委員	島津智行	小野田商工会議所青年部
5	委員	原井敬太	山陽商工会議所青年部
6	委員	中戸千恵	山陽商工会議所青年部
7	委員	梅野裕恵	一般社団法人小野田青年会議所
8	委員	長村知明	山陽小野田市役所
9	委員	竹森和貴	山陽小野田市役所
10	委員	村中佳子	山陽小野田市役所

No	役職	氏名	所属
11	委員	新立桃子	小野田高等学校
12	委員	牧南花	小野田高等学校
13	委員	境彩圭	小野田高等学校
14	委員	植田龍起	小野田工業高等学校
15	委員	上野雄太	小野田工業高等学校
16	委員	石田優斗	厚狭高等学校
17	委員	柳下舞音	厚狭高等学校
18	委員	立花健	北ノ川高等学校
19	委員	竹中梨夏	北ノ川高等学校
20	委員	川本誠	山口東京理科大学

## (3) 庁内推進会議

### ア 目的

市誕生10周年記念事業の計画等を策定・推進し、市が取り組むべき事業に関し審議・検討する。また、記念事業を市民に周知するとともに、職員の意識高揚を図る。

### イ 任務

計画策定、記念式典、広報活動、市主催事業、事業連携及び総合調整

### ウ 会議

平成26年7月から平成27年1月にかけて会議を6回開催した。

### エ 委員

No	役職	氏名	所属
1	会長	白井博文	市長
2	委員	江澤正思	教育長
3	委員	中村聡	総務部長
4	委員	堀川順生	総合政策部長
5	委員	川上賢誠	市民生活部長
6	委員	河合久雄	健康福祉部長
7	委員	小野信	産業振興部長
8	委員	佐村良文	建設部長

No	役職	氏名	所属
9	委員	吉藤康彦	山陽総合事務所長
10	委員	大田宏	成長戦略室長
11	委員	岩崎秀司	会計管理者
12	委員	今本史郎	教育部長
13	委員	河合伸也	病院事業管理者
14	委員	市村雄二郎	病院局事務部長
15	委員	岩佐謙三	水道事業管理者

(所属は当時)

## 5 広報・啓発活動

### (1) 広報紙への掲載

2014年5月1日号	実行委員会委員の募集
2014年6月1日号	プレイベント(第九・オペラ)参加者の募集
2014年7月15日号	シンボルマーク・テーマメッセージの募集
2014年10月1日号	シンボルマーク・テーマメッセージの決定
2014年10月15日号	市民主催事業・協賛事業の募集 プレイベント「第九 歓喜の歌」告知
2014年11月15日号	プレイベント「愛の妙薬」告知
2014年12月15日号	協賛事業の募集
2015年1月1日号～	市誕生10周年記念事業 Pick Up (かっぱ) 掲載開始
2015年1月15日	プレイベント「第九 歓喜の歌」【表紙】、 プレイベント「愛の妙薬」告知
2015年2月1日号	市誕生10周年記念「市民ふれあいの集い」告知
2015年3月1日号	プレイベント「愛の妙薬」【表紙】、 市誕生10周年記念「市民ふれあいの集い」の特集
2015年4月1日号	市誕生10周年記念「市民ふれあいの集い」【表紙】 市長から市民のみなさんへ「本市も10歳になりました」
2015年4月15日号	市主催事業・市民主催事業の特集
2015年5月15日号	市主催事業「花いっぱい運動」告知 冠事業「さんようおのだ水道展」告知
2015年6月1日号	冠事業「現代ガラス展」告知
2015年6月15日号	市民主催事業「復活！住吉まつり」【表紙】 市主催事業「特別展 幕末の女と男 山陽小野田編 第1弾」告知
2015年7月1日号	市主催事業「JFA こころのプロジェクト 夢の教室」【表紙】 市主催事業「出張！なんでも鑑定団」お宝大募集・観覧募集 冠事業「現代ガラス展」特集
2015年7月15日号	冠事業「現代ガラス展」【表紙】 冠事業「ピアノマラソン大会」告知
2015年8月1日号	市主催事業「NHKのど自慢」出場者・観覧者の募集
2015年8月15日号	冠事業「米倉齊加年 遺作原画展」告知
2015年9月1日号	市主催事業「ぐるーっと山陽小野田ウォーク」告知
2015年9月15日号	市民主催事業「祝誕生10周年記念10のイベント」告知 冠事業「歌ごえコンサート」告知
2015年10月1日号	市民主催事業「第3回市民カーニバル」告知
2015年10月15日号	市民主催事業「With～心と音をつないで」告知 冠事業「水源涵養林及び日峯川溪流探索ハイキング」告知 市主催事業「NHKのど自慢」告知
2015年11月1日号	市民主催事業「第3回市民カーニバル」【表紙】 市主催事業「第6回SOS健康フェスタ」告知
2015年11月15日号	市民主催事業「祝誕生10周年記念10のイベント」【表紙】
2015年12月15日号	2015 10大ニュース「山陽小野田市誕生10周年記念事業」

## (2) 記念誌の発行

市誕生10周年記念誌を発行し、平成27年3月15日の自治会便で市内全戸に配付した。また、3月22日の「市民ふれあいの集い」においても来場者に配布した。

### <記念誌の内容>

- 山陽小野田市10年の歩み
- データで見る山陽小野田市
- 山陽小野田市が目指すまちづくり
- このまちへの想い



## (3) ホームページの開設

市誕生10周年記念事業のホームページを開設した。シンボルマーク・テーマメッセージ、イベント（市民ふれあいの集い・市主催事業・市民主催事業・協賛事業）、記念誌を掲載し、ホットな情報を発信した。

## (4) ポスターの掲出

市誕生10周年の機運の醸成を図るため、趣きの異なる2種類のポスター(A4版)を200枚ずつ作成し、市内各所に掲出した。

### <掲出場所>

市関連施設63箇所、店舗等67箇所、企業等27箇所

その他おのだサンパーク、セブンイレブン各店舗、ローソン各店舗、ファミリーマート各店舗などに掲出を依頼した。



(5) のぼり・バックパネル

市誕生10周年の機運醸成を図るため、記念のぼりを30本作成し、市内の公共施設や市誕生10周年関連行事において掲出した。(常設3箇所、行事32箇所)

また、バックボード1式を作成し、市のセレモニーや庁中行事において活用した。



(6) 新聞広告

平成27年3月20日(金)発行の宇部日報に市誕生10周年記念に係る新聞広告を掲載した。

- ア 発行形態 別刷り8ページ(フルカラー)
- イ 発行部数 約48,000部(山陽小野田市及び宇部市)
- ウ 広告料 200,000円
- エ その他 3月22日開催の「市民ふれあいの集い」において来場者に配布した。(約1千部)



## Ⅱ 主な事業

### 1 プレイベント

○歌って祝おう！第九「歓喜の歌」 平成26年12月28日(日)14時開演 文化会館 大ホール

【第1部】市民ステージ

ピアノ：星野日菜、荒川浩子 合唱：山陽小野田少年少女合唱団、厚狭混声合唱団、高千帆混声合唱団

【第2部】第九「歓喜の歌」 ベートーヴェン作曲交響曲第9番ニ短調 Op.125「合唱付」第4楽章

指揮：福田隆 オーケストラ：山口県交響楽団 ソプラノ：横山典子 アルト：有富美子

テノール：藤田卓也 バリトン：水谷明仁

○誰でも楽しめるオペラ「ドニゼッティ 愛の妙薬」 平成27年2月15日(日)14時開演 文化会館 大ホール

【出演】アディナ：モチエオ久美 ジャンネッタ：横山典子 ネリーノ：藤田卓也 ドカルマラ：浜田嘉生

ベルコレ：水谷明仁 ピアノ：吉松理恵 合唱：公募による合唱団

### 2 市民ふれあいの集い

(1) 日時 平成27年3月22日(日)[市誕生10周年記念の日]

(2) 場所 文化会館

(3) 内容

ア 式典

市長あいさつ・議長あいさつ・受賞者表彰(シンボルマーク・テーマメッセージ)

イ 実行委員会主催事業

ONODAグラスアンサンブルコンサート 大ホール

シンガーソングライター松本隆博氏記念講演会 大ホール

ウ ユース会議事業

ステージパフォーマンス 大ホール

フードパーク 駐車場

### 3 市民主催事業(5事業)

○竜王山公園桜祭り・竜王山植樹祭

主催者 竜王山公園協賛会

とき 平成27年3月10日(火)(竜王山植樹祭)、平成27年4月5日(日)(竜王山公園桜祭り)

ところ 竜王山山頂付近(竜王山植樹祭)、赤崎公民館(竜王山公園桜祭り)

参加者 児童51人・関係者50人(竜王山植樹祭)、市民1,000人(竜王山公園桜祭り)

○復活！住吉まつり

主催者 住吉まつり復活委員会  
と き 平成 27 年 5 月 30 日(土) (前夜祭)、平成 27 年 5 月 31 日(日) (本祭)  
ところ 住吉神社境内、山手倶楽部、龍遊館ほか  
参加者 38 団体 750 人

○第 3 回山陽小野田市民カーニバル

主催者 山陽小野田市民カーニバル実行委員会  
と き 平成 27 年 10 月 25 日(日)  
ところ 山陽小野田市サッカー場  
参加者 出演者 650 人、ボランティア 40 人、来場者 2 万人

○**祝**誕生 10 周年 10 のイベント

主催者 山陽小野田市総合型スポーツクラブ連合会  
と き 平成 27 年 11 月 7 日(土)  
ところ 江汐公園、高泊公民館ほか  
参加者 競技参加者 336 人、ステージ参加者 80 人、来賓 10 人、スタッフ・ボランティア 100 人、市民 400 人

○山陽小野田市で生まれた太鼓とガラスのコンサート「W i t h ～心と音をつないで～」

主催者 山陽小野田市で生まれた音楽を奏でる会  
と き 平成 27 年 4 月 1 日～11 月 15 日(日)  
ところ 不二輸送機ホール (大ホール)  
参加者 出演者 57 人、スタッフ 22 人、来場者 326 人

4 市主催事業 (9 事業)

○花いっぱい運動事業

所管課 教育委員会社会教育課  
と き 種の配布：平成 27 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火)、種の回収：9 月 1 日(火)～10 月 30 日(金)  
ところ 市内全域 (小・中学校の児童・生徒、各地区公民館窓口を介して、ひまわりの種を配布。)  
参加者 ひまわりの種配布 小・中学校 5,300 人、公民館等窓口 5,000 人

○JFA ころのプロジェクト「夢の教室」事業

所管課 成長戦略室  
と き 平成 27 年 6 月 12 日(金)～7 月 14 日(火)  
ところ 市内中学校 (6 校)  
参加者 市内全中学 2 年生約 550 人

○特別展『幕末の女と男 山陽小野田編』

所管課 歴史民俗資料館  
と き 第 1 弾：平成 27 年 6 月 26 日(金)～8 月 23 日(日)、第 2 弾：9 月 11 日(金)～11 月 1 日(日)  
ところ 歴史民俗資料館 2 階  
参加者 入場者等 2,716 人

○セルゲイ・ナカリヤコフリサイタル

所管課 成長戦略室文化会館  
と き 平成 27 年 7 月 5 日(日)  
ところ 不二輸送機ホール 大ホール  
参加者 入場者 447 人

○第 28 回全国健康福祉祭山口大会山陽小野田市特別表彰事業

所管課 健康福祉部高齢障害課  
と き 平成 27 年 10 月 17 日(土)  
ところ 市民館 体育ホール  
参加者 1,100 人

○ぐるーっと山陽小野田ウォーク

所管課 教育委員会社会教育課  
と き 平成 27 年 10 月 24 日(土)・11 月 7 日(土)・12 月 6 日(日)  
ところ 市内 3 コース  
参加者 119 人

○出張！なんでも鑑定団 in 山陽小野田

所管課 総務部総務課  
と き 平成 27 年 11 月 1 日(日)  
ところ 不二輸送機ホール 大ホール  
参加者 鑑定依頼人 6 人、観覧者約 700 人

○第 6 回 S O S 健康フェスタ

所管課 健康福祉部健康増進課  
と き 平成 27 年 11 月 15 日(日)  
ところ 市民館及び市民体育館  
参加者 来場者 1,800 人

○NHK 公開番組「NHK のど自慢」

所管課 成長戦略室文化会館  
と き 平成 27 年 11 月 22 日(日)  
ところ 不二輸送機ホール 大ホール  
参加者 出場者 29 人、観覧者 601 人

5 冠事業 (6 事業)

さんようおのだ水道展	平成 27 年 6 月 1 日～7 日	おのだサンパーク
第 6 回現代ガラス展 in 山陽小野田	平成 27 年 7 月 4 日～8 月 23 日	おのだサンパーク
第 21 回山陽小野田市ビ <sup>o</sup> アマゾン大会	平成 27 年 8 月 28 日～30 日	不二輸送機ホール
米倉齊加年 遺作原画展	平成 27 年 9 月 19 日～30 日	不二輸送機ホール
～市民みんなで歌おう～♪歌ごえコンサート	平成 27 年 10 月 11 日	不二輸送機ホール
水源涵養林及び日峯川溪流探索ハイク <sup>o</sup>	平成 27 年 11 月 23 日	美祢市秋芳町嘉万

## 6 協賛事業（23事業）

No.	事業名	主催者	事業内容	実施期間	実施場所	参加者(人)
1	第6回やまぐち名産品フェア	山陽小野田観光協会	市をはじめ県内の名産品等の紹介・販売	1/10～1/12	おのだサンパーク	47,000
2	第34回山陽小野田市高校サッカーフェスティバル	山陽小野田市体育協会	県外53校、県内17校を招請した高校サッカーフェスティバル	3/21～3/24	県立おのだサッカー交流公園	1,900
3	男女共同参画フォーラム「新春のつどい」	山陽小野田市女性団体連絡協議会	男女共同参画に関するフォーラム	1/29	文化会館小ホール	130
4	平成27年山陽小野田市消防出初式	山陽小野田市消防団	観閲行進、木遣・はしご乗り・腕用ホップ・鈴割演技	1/11	山陽小野田市民館	500
5	第47回山陽小野田市駅伝競走大会	山陽小野田市体育協会	男子(5区間22.3km)、女子(5区間14.8km)	1/18	竜王山周回コース	700
6	平成27年山陽小野田ふるさと凧あげフェスティバル	山陽小野田ふるさと凧あげフェスティバル実行委員会	凧あげ競技、凧づくり教室、ハザー	3/1	きららビーチ焼野	1,000
7	第28回消防展	宇部・山陽小野田消防局	火災予防作品展示、梯子車体験、その他広報啓発活動	2/28～3/1	おのだサンパーク	800
8	ボランティアだよ！全員集合	社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会	ボランティアによる江汐公園さくらの森再生	3/21～3/23	江汐公園さくらの森	200
9	学童・還暦軟式野球交流大会	山陽小野田市野球連盟	少年野球チームの6年生と還暦チームの試合	11/7～11/8	山陽小野田市野球場	100
10	自転車さんぽ@山陽小野田	山口東京理科大学サイクリング部Radfahren	市内をクイズに答えながら滑走する自転車イベント	6/6	山口東京理科大学及び山陽小野田市	70
11	寝太郎まつり	山陽商工会議所	千石船山車パレード、寝太郎総踊り、ステージイベントほか	4/29	厚狭駅前商店街通り	8,000
12	第5回埴生潮干狩り大会	山陽商工会議所	体験観光目的の潮干狩り大会	5/16	埴生漁港	700
13	第55回全日本実業団男子ソフトボール選手権中国地区予選	中国ソフトボール協会	実業団男子ソフトボール選手権の中国地区予選の開催	5/16～5/17	山陽小野田市野球場ほか	220
14	NPO法人さんようおのだシティセールス推進隊設立記念講演	NPO法人さんようおのだシティセールス推進隊	講演・フラダンス・表彰	6/7	山陽小野田市文化会館	150
15	小野田吹奏楽団第13回演奏会	小野田吹奏楽団	愛をテーマに様々なジャンルの楽曲の演奏	9/13	不二輸送機ホール	600
16	やけの美タフェスタ2015	やけの美タフェスタ実行委員会	ステージイベント、その他イベント、模擬店、バルーンリリース	7/19	焼野きららビーチ一帯	3,000
17	厚狭花火大会	山陽商工会議所	打上げ花火(3,000発)、子供相撲、子供みこし	7/25	厚狭川河畔	25,000
18	9回おのだ七夕花火	小野田商工会議所	花火部門(3,000発)、七夕部門、ステージ部門、模擬店	8/7	県立おのだサッカー交流公園	30,000
19	埴生きおんふるさと祭り	埴生きおんふるさと祭り実行委員会	子供みこし、ステージイベント、模擬店	8/1	糸根神社境内	1,000
20	平成27年度女と男のいきいき市民カレッジ特別講演「三浦家の元気の秘密」	山陽小野田市連合女性会	三浦豪太氏講演会(プロスキーヤー、医学博士)	11/23	山陽小野田市民館	600
21	厚狭秋まつり	山陽商工会議所	ステージイベント、青空レストラン、古式行事披露	11/8	厚狭駅前商店街通り	10,000
22	第6回山陽小野田市農林水産まつり	農林水産まつり実行委員会	農産物品評会、PRコーナー、模擬店、餅まき	12/6	山陽小野田市地方卸売市場	3,000
23	第3回中央図書館フェスティバル	中央図書館フェスティバル実行委員会	ハザー、ワークショップ、展示	11/29	山陽小野田市中央図書館	2,000

### Ⅲ 実施報告書

#### 山陽小野田市誕生10周年記念事業 実施報告書

事業所管課〔 総務課 〕

1	事業名	市民ふれあいの集い
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	平成27年3月22日に山陽小野田市が誕生して10周年を迎えるため、山陽小野田市文化会館において記念式典、表彰、実行委員会主催事業及びユース会議事業を開催する。
4	(1) 内容	ア 記念式典 市長・議長あいさつ、テーマメッセージ・シンボルマーク表彰 イ 実行委員会主催事業（詳細は別掲） ONODA グラスアンサンブルコンサート、松本隆博氏記念講演会 ウ ユース会議主催事業（詳細は別掲） ステージパフォーマンス、フードコート
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	実施主体 山陽小野田市誕生10周年記念事業実行委員会 山陽小野田市誕生10周年記念事業ユース会議 山陽小野田市誕生10周年記念事業庁内推進会議
5	(1) 予算額	総事業費 2,244,000 円 被表彰者記念品 300,000 円 消耗品ほか 310,000 円 音響照明委託料 54,000 円 ステージ横断幕等 80,000 円 実行委員会主催事業 1,000,000 円 ユース会議事業 500,000 円
	(2) 決算額	総事業費 1,987,810 円 被表彰者記念品 100,000 円 消耗品ほか 222,570 円 音響照明委託料 54,000 円 ステージ横断幕等 111,240 円 実行委員会主催事業 1,000,000 円 ユース会議事業 500,000 円
6	実施状況	(1) 日時・場所 平成27年3月22日(日)、文化会館 オープニング 10:00、記念式典 10:30、記念講演会 11:20、 ステージパフォーマンス 13:50、フードパーク 10:00～15:00 (2) 対象者・参加人数 市民ふれあいの集い全体を通して市民約1,000人が来場した。 事業関係者として、オープニング9人、式典2人、被表彰者4人、記念講演会4人、司会者等2人、ユース会議事業約200人が参加した。 運営スタッフ80人(ユース会議20人、市職員60人) (3) 具体的な内容・状況 オープニングではONODAグラスアンサンブルがコンサートを行った。 記念式典では、市民憲章唱和、市長・議長のあいさつ、シンボルマーク・テーマメッセージの受賞者の表彰を行った。 記念講演会ではシンガーソングライターの松本隆博氏が講演を行った。 文化会館周辺ではフードパークと称した各種ブースを出店した。 山陽小野田市の10年を振り返る写真展及びハガキ絵展「みんなの笑顔」をロビーなどで開催した。 KRY山口放送アナウンサーで本市出身の中村衣里氏が総合司会者を務めた。 (4) 成果・効果 市誕生10周年の記念の日に実行委員会・ユース会議・庁内推進会議が合同で多種多様の行事を展開し、市民の一体感の醸成や市の知名度のアップを図ることができた。
7	その他(今後の取組など)	多くの市民が参加するよう、集客の工夫が必要である。

## 市民ふれあいの集い



〈開会行事「市民憲章唱和」〉



〈開会行事「市長あいさつ」〉



〈開会行事「議長あいさつ」〉



〈シンボルマーク等入賞者表彰式〉



〈ハガキ絵展「みんなの笑顔」〉



〈10年を振り返る写真展〉

山陽小野田市誕生10周年記念事業 実施報告書

事業所管課〔 総務課(実行委員会事務局) 〕

1 事業名	実行委員会主催事業
2 市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成                      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ                      ④10年の軌跡をたどる
3 事業の目的	3月22日の市誕生10周年記念の日に開催される「市民ふれあいの集い」の中で実行委員会が主催する事業を実施し、市誕生10周年の機運の醸成を図る。
4 事業の概要	(1) 内容 ア 「市民ふれあいの集い」オープニング ONODAグラスアンサンブルによるコンサート イ 記念講演会 記念式典後にシンガーソングライターの松本隆博氏による記念講演会を開催
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など) 市誕生10周年記念事業実行委員会が主催者となり実施した。記念講演会の運営は㈱トゥー・マンテンズに業務を委託して実施した。
5 事業費	(1) 予算額 総事業費 1,071,000円 記念講演料 885,000円 オープニング謝礼金 15,000円 音響照明委託料 100,000円 事務費 71,000円
	(2) 決算額 総事業費 1,071,000円 記念講演料 816,480円 オープニング謝礼金 15,000円 音響照明委託料 129,600円 事務費 109,920円
6 実施状況	(1) 日時・場所 平成27年3月22日(日)の市誕生10周年記念の日に文化会館大ホールで開催した。 ア オープニング 10:00~10:30 イ 記念講演会 11:20~12:40 (2) 対象者・参加人数 ア オープニング 対象:市民、参加人数:200人 イ 記念講演会 対象:市民、参加人数:300人 (3) 具体的な内容・状況 市誕生10周年記念事業実行委員会委員に実行委員会主催事業の提案を求めたところ、8人の委員から提案があった。 平成26年11月26日の第3回実行委員会会議で当該提案について順位付けを行ったところ、ONODAグラスアンサンブルのコンサートと松本隆博氏の記念講演会が上位を占め、両事業を実行委員会主催事業として実施することとなった。 市民ふれあいの集いのオープニングを飾ることとなったONODAグラスアンサンブルは、「オーバーザレインボー」、「花は咲く」など5曲を演奏し、ガラスでしか出せない音色で山陽小野田市の10周年にふさわしい演奏となった。 「家族の絆~親への感謝・ありがとうを伝えよう~」と題した松本隆博氏の記念講演会は、優しい語り口調とギターの演奏を交えたライブ形式で、人生経験を活かした笑いあり涙ありの感動ライブとなった。 (4) 成果・効果 実行委員会委員から提案のあった8事業の中から実行委員会の中で2事業を厳選した。いずれの事業も市民の意向が十分に反映され、市誕生10周年の機運醸成につながった。
7 その他(今後の取組など)	記念事業の中に市民の声を取り上げるためには、今後も実行委員会の設置は必要である。

## 実行委員会主催事業



(オープニングコンサート)



(松本隆博記念講演会)

山陽小野田市誕生 10 周年事業 実施報告書

事業所管課〔 総務課(ユース会議事務局) 〕

1 事業名	ユース会議事業														
2 市誕生 10 周年の趣旨	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="555 427 770 461">①一体感の醸成</td> <td data-bbox="831 427 1233 461">②躍動感あふれるまちづくり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 461 770 495">③知名度アップ</td> <td data-bbox="831 461 1233 495">④10年の軌跡をたどる</td> </tr> </table>			①一体感の醸成	②躍動感あふれるまちづくり	③知名度アップ	④10年の軌跡をたどる								
①一体感の醸成	②躍動感あふれるまちづくり														
③知名度アップ	④10年の軌跡をたどる														
3 事業の目的	3月22日の市誕生10周年記念の日に開催される「市民ふれあいの集い」の中でユース会議が主催する事業を実施し、次代のを担う若者たちに日頃の成果を発表する場を提供するとともに、名産品の照会・販売や各種団体の模擬店などを設置して、躍動感あふれるまちづくりに寄与し、本市の知名度をアップさせる。														
4 事業の概要	(1) 内容	<p><b>ア ステージパフォーマンス</b> 市内の高校から6チームが参加し、不二輸送機ホールの大ホールでパフォーマンスを競う。ゲスト団体が2チーム参加し、踊りを披露する。</p> <p><b>イ フードパーク</b> 市内の名産品事業者が出店して名産品の紹介・販売を行う。各種団体が模擬店を設置して来場者に飲食物を有償で提供する。ユース会議が市内のお菓子を販売する。</p>													
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	<p><b>実施主体</b>：ユース会議(小野田商工会議所青年部、山陽商工会議所青年部、小野田青年会議所、市内高校・大学生、市役所若手職員)</p> <p><b>協力校</b>：山口東京理科大学、小野田高校、厚狭高校、小野田工業高校、サヘル高校</p> <p><b>名産品事業者</b>：(株)ジー・テイスト、竹まる、西海食品(株)</p> <p><b>協力団体</b>：小野田商工会議所女性部、山陽商工会議所女性部、どんこクラブ(埴生漁港)、市社会福祉協議会</p>													
5 事業費	(1) 予算額	<table border="0"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="555 1104 1002 1137">(収入)</td> <td colspan="2" data-bbox="1002 1104 1450 1137">(支出)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1137 770 1171">市補助金</td> <td data-bbox="770 1137 1002 1171">500,000 円</td> <td data-bbox="1002 1137 1217 1171">イベント費</td> <td data-bbox="1217 1137 1450 1171">500,000 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1171 770 1193">雑収入</td> <td data-bbox="770 1171 1002 1193">30,100 円</td> <td data-bbox="1002 1171 1217 1193">事務費ほか</td> <td data-bbox="1217 1171 1450 1193">30,100 円</td> </tr> </table>		(収入)		(支出)		市補助金	500,000 円	イベント費	500,000 円	雑収入	30,100 円	事務費ほか	30,100 円
	(収入)		(支出)												
市補助金	500,000 円	イベント費	500,000 円												
雑収入	30,100 円	事務費ほか	30,100 円												
(2) 決算額	<table border="0"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="555 1193 1002 1227">(収入)</td> <td colspan="2" data-bbox="1002 1193 1450 1227">(支出)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1227 770 1261">市補助金</td> <td data-bbox="770 1227 1002 1261">500,000 円</td> <td data-bbox="1002 1227 1217 1261">イベント費</td> <td data-bbox="1217 1227 1450 1261">542,059 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1261 770 1283">雑収入(売上げ)</td> <td data-bbox="770 1261 1002 1283">74,309 円</td> <td data-bbox="1002 1261 1217 1283">事務費ほか</td> <td data-bbox="1217 1261 1450 1283">32,250 円</td> </tr> </table>		(収入)		(支出)		市補助金	500,000 円	イベント費	542,059 円	雑収入(売上げ)	74,309 円	事務費ほか	32,250 円	
(収入)		(支出)													
市補助金	500,000 円	イベント費	542,059 円												
雑収入(売上げ)	74,309 円	事務費ほか	32,250 円												
6 実施状況	(1) 日時・場所 平成27年3月22日(日)10:00~16:30 文化会館大ホール及び周辺駐車場														
	(2) 対象者・参加人数 ステージパフォーマンス 出演者数：約150人、来場者：500人 フードパーク 出店団体数：8団体、来場者：多数														
	(3) 具体的な内容・状況 ユース会議において班編成を行い、創意工夫を重ねて事業を展開した。 ステージパフォーマンスでは、小野田高校から TEAM*DANGO(ダンス)と吹奏楽、厚狭高校から「ろっくれんじ」(バンド)と吹奏楽部、小野田工業高校からホッパ競技、サヘル高校から合唱部が参加し、ステージパフォーマンスを競った。また、ゲストとして拳聖館円心塾が空手を披露し、小野田中学校の Red sugar がコンクールに入賞したダンスを発表した。総合司会は KRY 山口放送中村衣里氏が務め、フィナーレでは「ふるさと」の全員合唱を行った。なお、記念講演を行った松本隆博氏やマスコットキャラクターの「ねたろう君」が飛び入り出演し、会場を盛り上げた。 フードパークでは、名産品事業者が縁起焼、まんじゅう、てんぷらなどの名産品即売コーナーを設置し、各種団体がうどん、すし、エビカツ、焼きそば、ジュースなどを販売した。また、ユース会議も市内のお菓子コーナーを出店した。														
	(4) 成果・効果 ユース会議のメンバーが一致団結し、全力を尽くして事業を推進した。 中高生などの次代を担う若者の参加協力が得られた。 躍動感あふれるまちづくりに大きく貢献することができた。														
7 その他(今後の取組など)	ユース会議事業を通して培った若者の結束を次の10年に活かして行きたい。														

## ユース会議事業



〈多彩なステージパフォーマンス〉



〈多彩なステージパフォーマンス〉



〈ステージパフォーマンス表彰式〉



〈フィナーレで「ふるさと」を合唱〉



〈市内銘菓販売〉



〈フードパーク〉

山陽小野田市誕生10周年記念市民主催事業 実施報告書

市民活動団体名〔 竜王山公園協賛会 〕

1	事業名	竜王山公園桜祭り・竜王山植樹祭																	
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる																	
3	事業の目的	竜王山は1万本を誇る桜の名所である。しかし、古木が多く、また枯木やテングス病に罹った木も相当数見受けられ、桜を取り巻く状況は深刻である。植樹祭を、桜の名所を復興し、竜王山の魅力を次代に引き継ぐ契機とする。また、桜祭りとコラボすることで、広く強い情報発信が期待できる。																	
4	事業の概要	(1) 内容	恒例の竜王山公園桜祭りに併せ、竜王山植樹祭を開催し、竜王山山頂東斜面に桜の若木を15本植樹した。植樹に係る主要部分については造園業者が、補助・補完的な作業については本会役員、3月に卒業をする地元小学校児童、地元関係者が行った。また、植樹祭については、桜祭り式典において、役員が実施報告を、参加児童が体験報告を行った。																
		(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	主催：竜王山公園協賛会 協力：山陽小野田市、赤崎・本山小学校、赤崎地区・本山地区三協議会																
5	事業費	(1) 予算額	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">(収入)</td> <td colspan="2">(支出)</td> </tr> <tr> <td>10周年補助金</td> <td>300,000円</td> <td>イベント費</td> <td>450,000円</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>700,000円</td> <td>運営費</td> <td>550,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,000,000円</td> <td>合計</td> <td>1,000,000円</td> </tr> </table>	(収入)		(支出)		10周年補助金	300,000円	イベント費	450,000円	その他の収入	700,000円	運営費	550,000円	合計	1,000,000円	合計	1,000,000円
		(収入)		(支出)															
		10周年補助金	300,000円	イベント費	450,000円														
その他の収入	700,000円	運営費	550,000円																
合計	1,000,000円	合計	1,000,000円																
(2) 決算額	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">(収入)</td> <td colspan="2">(支出)</td> </tr> <tr> <td>10周年補助金</td> <td>300,000円</td> <td>イベント費</td> <td>484,336円</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>565,604円</td> <td>運営費</td> <td>381,268円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>865,604円</td> <td>合計</td> <td>865,604円</td> </tr> </table>	(収入)		(支出)		10周年補助金	300,000円	イベント費	484,336円	その他の収入	565,604円	運営費	381,268円	合計	865,604円	合計	865,604円		
(収入)		(支出)																	
10周年補助金	300,000円	イベント費	484,336円																
その他の収入	565,604円	運営費	381,268円																
合計	865,604円	合計	865,604円																
うち補助対象経費		723,324円																	
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 平成27年3月10日(火)14:00～14:30 竜王山植樹祭・竜王山山頂 平成27年4月5日(日)10:00～13:30 竜王山桜祭り・赤崎公民館</p> <p>(2) 対象者・参加人数 竜王山植樹祭 児童51人、関係者30人 竜王山桜祭り 来場者約1,000人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況  <b>竜王山植樹祭</b>                      山頂で式典を行った。                      竜王山山頂ローター下の東側斜面に、「トビヒガン桜」(テングス病に強く、樹齢は長い。開花はメイメイシよりやや早い。)を15本植樹した。                      植込みは市内の造園業者と協賛会役員が行い、児童が「土かけ」、「水かけ」を行った。  <b>竜王山桜祭り</b>                      当日は雨天のため、赤崎公民館で開催した。                      式典の中で協賛会役員が植樹祭の報告を行い、参加児童が体験発表を行った。  <b>その他</b>                      事業に先立ち、1月19日には地元小学校や関係者に協力要請を行った。                      3月4日に役員会を開催し、事業内容等を検討した。                      3月15日及び4月1日の市広報、3月15日の自治会便並びに4月2日の地元紙で周知を図った。</p> <p>(4) 成果・効果                      ①桜の樹木がまばらとなっている竜王山山頂東斜面に、テングス病に強いとされるトビヒガン桜の若木15本を植樹した。若木としたことで、苗木に比べ根付く率が高く、また早い時期に花を付けることも期待できる。                      ②地元小学校児童の卒業記念事業として実施したことで、貴重な植樹体験はもとより、次代を担う子ども達の心に「竜王山の桜を大切にしたい、誇りにしたい」という気持ちの苗木も植樹できた。</p>																	

## 竜王山公園桜祭り・竜王山植樹祭



〈みなさん、がんばりましょう〉



〈地域がひとつになって〉



〈やさしく、やさしく〉



〈きれいにできたよ〉



〈参加者全員で記念撮影〉

山陽小野田市誕生10周年記念市民主催事業 実施報告書

市民活動団体名〔住吉まつり復活委員会〕

1	事業名	『復活！住吉まつり』	
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ③知名度アップ	②躍動感あふれるまちづくり ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	住吉まつりは、小野田セメント創設者で名誉市民第1号者である笠井順八翁がセメント会社の守護神として建立した住吉神社の祭りであり、かつて市の振興に多大な貢献があった。長らく途絶えていた祭りを復活することにより地域コミュニティの向上や次世代を担う青少年の郷土意識を育み、市の発展に寄与するとともに、郷土の誇れる伝統文化行事として末永く継承する。	
4	事業の概要	(1) 内容	幼稚園児から大学生・一般団体による演舞・演奏等をメイン会場で開催。会場周辺沿道では郷土に縁のある偉人行列やセメント縁のセメント樽型みこし、徳利窯型みこし、竜舞等がパレード。山陽小野田の伝統芸能でもある「小野田音頭」を、複数団体にて総踊りを展開。山手倶楽部・龍遊館・いつは等でコンサート・バザー・フリマ・地元の歴史パネル展示等で楽しむ。
		(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	主催 住吉まつり復活委員会 共催 小野田商工会議所、須恵ふるさとづくり協議会、小野田ふるさとづくり協議会、須恵地区自治会協議会、小野田地区自治会協議会、須恵地区社会福祉協議会、小野田地区社会福祉協議会 後援 山陽小野田市、山陽小野田観光協会、山陽小野田市社会福祉協議会、山口東京理科大学、宇部日報社、FMきらら、FMサンサンきらら
5	事業費	(1) 予算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 4,244,000円 合計 4,544,000円 (支出) イベント費 2,350,000円 運営費 2,194,000円 合計 4,544,000円
		(2) 決算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 4,547,848円 合計 4,847,878円 (支出) イベント費 2,649,202円 運営費 2,198,676円 合計 4,847,878円
		うち補助対象経費	3,478,932円
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 前夜祭 平成27年5月30日(土)午後5時～午後9時 本祭 平成27年5月31日(日)午前10時～午後4時 住吉神社境内・山手倶楽部・龍遊館・いつは・太平洋セメント社宅駐車場・小野田工業高校駐車場及び沿道</p> <p>(2) 対象者・参加人数 山陽小野田市内の団体を中心に38団体・750名が参加</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 【5/30 前夜祭】 [メイン会場イベント]須恵太鼓保存会・水本諭(ライブ)・あかね(大正琴)・マーゴフレリア(フラグス)・門司のバナナのたたき売り・浅野佑悠輝(ライブ)・童謡連手毬(よさこい)・仁双式心(よさこい) [竹灯籠]住吉神社参道及び山手倶楽部前庭に点灯 [バザー]メイン会場などで地元のバザー、喫茶など [山手倶楽部]飲食、喫茶コーナー、ジャズの生演奏 【5/31 本祭】 [メイン会場イベント]須恵小学校金管バンド・幼稚園児(演舞)・保育園児(太鼓)・古式行事大行司・竜王太鼓・みこし(セメント樽・徳利窯・硫酸瓶)・龍舞・小野田音頭・小野田偉人行列・小野田吹奏楽団・ジャグリング・よさこい・餅まき [パレード]小野田工業高校駐車場から本会場までの600mの間、演舞団体、大行司、保育園児、みこし、小野田偉人行列、竜舞、小野田音頭保存会が練り歩く [山手倶楽部]飲食・喫茶及びジャズの生演奏 [龍遊館]笠井順八翁パネル展・百人一首かるた模範試合・喫茶コーナー [いつは]ゲームコーナー・ジャグリング・子供遊びコーナー等 [セメント社宅駐車場]フリーマーケット・クイズラリー大会</p> <p>(4) 成果・効果 参加者に地元の歴史を理解してもらう場が提供できた。 まつりを通じて地域の方々との交流が図れた。 歴史色を前面に出すことで郷土意識を育むことができた。 今後とも地元の期待に応えるべく伝統的な祭りに育てて行く。</p>	

# 復活！住吉まつり



〈前夜祭ステージ〉



〈前夜祭ジャズコンサート〉



〈セメント樽みこし〉



〈硫酸瓶みこし〉



〈華やかな本祭ステージ〉



〈小野田偉人行列〉

山陽小野田市誕生10周年記念市民主催事業 実施報告書

市民活動団体名〔 山陽小野田市民カーニバル実行委員会 〕

1	事業名	第3回山陽小野田市民カーニバル	
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ③知名度アップ	②躍動感あふれるまちづくり ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	<p>「市民が創る市民参加のカーニバル」として平成25年度から実施している。例年、参加者1千人、来場者1万人の全市的なイベントとして定着している。</p> <p>今回は、市誕生10周年を記念し、市民の連帯感と機運の醸成を目的とし、様々な事業を展開する。</p>	
4	(1) 内容	特設ステージ（絆もちまき、「ソルジェンティ」ライブほか） 体験コーナー（消防車・パトカー・自衛隊・山陽オート） バザー・どうぶつ愛ランド・空中散歩・風船つりなど	
	(2) 実施体制 （共催・後援・協力団体など）	主催：山陽小野田市民カーニバル実行委員会 （山陽小野田市自治会連合会・市ふるさとづくり協議会・市女性団体連絡協議会・市子ども会育成連絡協議会・すばる会ほか）	
5	(1) 予算額	(収入)	(支出)
		10周年補助金 300,000円 その他の収入 3,620,000円 合計 3,920,000円	イベント費 2,750,000円 運営費 1,170,000円 合計 3,920,000円
	(2) 決算額	(収入)	(支出)
		10周年補助金 300,000円 その他の収入 3,709,818円 合計 4,009,818円	イベント費 2,182,427円 運営費 1,827,391円 合計 4,009,818円
	うち補助対象経費		3,440,496円
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 平成27年10月25日(日)10時～15時、山陽小野田市サッカー場</p> <p>(2) 対象者・参加人数 来場者2万人、出演者650人、ボランティア40人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 10月25日は好天に恵まれ、会場の山陽小野田市サッカー場にはたくさんの市民が詰めかけ、大盛況の裡にカーニバルを終えることができた。 会場には、特設ステージ(幅10.8m×奥行7.2m×高さ1.5m)を設置し、兄弟デュオ「ソルジェンティ」のライブや、山陽小野田音頭総踊り、大龍舞、竜王太鼓、マーチングバンドなどの様々なパフォーマンスを実施した。また、フィナーレとして5(GO!)3(山陽)0(小野田)に因んだ530kgの絆もちまきを実施した。 体験コーナーには、消防・警察・自衛隊の特殊車両やオートレース車の展示、どうぶつ愛ランド、特殊高所作業車による空中散歩、ゲームコーナーなど、多種多様なブースを設置した。 バザーでは、市内各地区のふるさとづくり協議会に参加をいただき、ちらし寿しやカレー、うどんなどの食のコーナー、社会福祉協議会による物販など、各種団体の協力により多彩な模擬店が開催された。 新市10周年記念イベントとしては、「一斉に夢と希望を大空へ!」とのテーマの下、エコロピィ風船1千個を大空へ向けリリースした。また、場内各所に新市10周年ののぼりを掲出し、新市誕生10周年の機運を高揚した。</p> <p>(4) 成果・効果 第3回を迎える今回の市民カーニバルは、山陽小野田市が10周年を迎えるため、市誕生10周年記念市民主催事業として実施した。 当日は好天にも恵まれ、多くの市民が詰めかけ、大盛況の裡に事故もなく、イベントを終えることができた。 特に新市10周年記念として会場各所にのぼりを掲出するとともに、バルーンリリースを実施した。 このイベントを通じて、市民の交流と絆がより一層深まったと考える。</p>	

### 第3回山陽小野田市民カーニバル



〈巨大風船でお出迎え〉



〈ステージパフォーマンス〉



〈多彩な催し・空中散歩〉



〈山陽小野田音頭総踊り〉



〈エコロヴィ風船リリース〉



〈絆もちまき〉

山陽小野田市誕生10周年記念市民主催事業 実施報告書

市民活動団体名〔 山陽小野田市総合型スポーツクラブ連合会 〕

1	事業名	㊦誕生10周年10のイベント	
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる	
3	事業の目的	山陽小野田市誕生10周年を記念して10のイベントを展開することで、スポーツによるまちづくりの核となる2つの総合型スポーツクラブの交流を図る。 その小さな渦に多くの市民を巻き込むことで、大きな渦とし、山陽小野田市民としての一体感を共有する。	
4	事業の概要	(1) 内容	10のイベント ①グラウンドゴルフ・②硬式テニス・③PK大会・④フリースロー大会・⑤玉入れ・⑥ダンス・⑦太鼓・⑧ソフトバレー・⑨健康麻将・⑩ウォーキング その他の事業 ニュースポーツ、かぼちゃ重量当てクイズ、餅まき
		(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	主催：山陽小野田市総合型スポーツクラブ連合会 (すげえちゃ・高泊、出会いちょうクラブ) 後援：山陽小野田市、山陽小野田市教育委員会
5	事業費	(1) 予算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 390,000円 合計 690,000円 (支出) イベント費 330,000円 運営費 360,000円 合計 690,000円
		(2) 決算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 403,300円 合計 703,300円 (支出) イベント費 366,305円 運営費 336,995円 合計 703,300円
		うち補助対象経費	662,046円
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 平成27年11月7日(土) 各競技9:00~12:00 ステージ13:30~15:45 江汐公園、高泊コミュニティ体育館、すげえちゃ・高泊クラブハウス</p> <p>(2) 対象者・参加人数 競技参加者336人、ステージ参加者80人、来賓10人、スタッフ・ボランティア100人、一般市民400人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況          &lt;江汐公園9時競技開始~&gt;          ①グラウンドゴルフ(グリーン広場) 受付8:30、120名、3ラウンド          ②硬式テニス、ソフトテニス(テニスコート) 旧小野田市、旧山陽町チーム対抗戦          ③PK大会 小学生1~3年の部、小学生4~6年・女性の部、一般の部、1チーム3人以上5人以内、各16チーム          ④フリースロー大会 小学生対象、人数制限なし          ⑤玉入れ(100個の玉入れを競うタイムトライアルスポーツ) 中学生以上(中学生のみのチーム編成は不可。但し成人1名以上いる場合は可)、1チーム8名以内(監督を含む)、出場選手4名以上6名以下16チーム          &lt;グリーン広場ステージ13:30~&gt;          ⑥太鼓(寝太郎太鼓14:00~14:20)          ⑦ダンス共演(キッズダンス&amp;リズム体操14:20~14:40)          &lt;高泊コミュニティ体育館9:00~&gt;          ⑧ソフトバレー(雨天順延なし) 高校生以上、1チーム4人(女性2名以上)、12チーム          &lt;すげえちゃ・高泊クラブハウス9:00~&gt;          ⑨健康麻将 先着24名          &lt;高泊公民館・出合公民館 受付8:30~ 出発9:00~&gt;          ⑩ウォーキング 高泊公民館・出合公民館を出発した2つが厚狭川下津河川敷で合流し江汐公園を目指す。各50名 高泊公民館→江汐公園10.9km 出合公民館→江汐公園8.7km</p> <p>(4) 成果・効果 多くの市民の参加を得て、ほぼ予定通りに実施することができた。2つのクラブが協力して一つのイベントを行うことで相互理解を深めることができた。これからも地域に根ざした活動を続けて行きたい。</p>	

祝 誕生10周年10のイベント



〈キッズダンス〉



〈会場が一体でフォークダンス〉



〈グラウンドゴルフ〉



〈ニュースポーツ・玉入れ〉



〈PK大会〉



〈フィナーレのもちまき〉

山陽小野田市誕生10周年記念市民主催事業 実施報告書

市民活動団体名〔 山陽小野田市で生まれた音楽を奏でる会 〕

1	事業名	山陽小野田市で生まれた太鼓とガラスのコンサート 「With～心と音をつないで～」	
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ③知名度アップ	②躍動感あふれるまちづくり ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	山陽小野田の伝承芸能、「竜王太鼓」と山陽小野田市で誕生した、「ガラス楽器楽団」のコラボレーションコンサート。山陽小野田市誕生10周年を記念して、異分野の楽団が協同して山陽小野田市オリジナルの音楽を生み出し市民に提供する。郷土の音楽として創作し、広域の方々にも周知し、楽しんでもらうことを目的とする。	
4	事業の概要	(1) 内容	11/15 コンサートの内容 I 高泊たけの子オーケストラ【竹楽器】 II ONODAガラスアンサンブル【ガラス楽器】/山口伝承センター箏教室【箏】 III 竜王太鼓保存会【和太鼓】 IV ♪もののけ姫 ～フィナーレ～（初演、山陽小野田市誕生10周年記念委嘱作品） “山陽小野田物語”～ガラスの楽器と和太鼓のアンサンブル～ 作詞/作曲 岡澤理絵
		(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	協賛：富士商(株)、(株)トリ楽器 後援：山陽小野田市、山陽小野田市文化協会、(公財)音楽文化創造、TYS テレビ山口、KRY 山口放送、yab 山口朝日放送、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社、エムエムきらら、FM サンサンきらら、エフエム山口、山口新聞社
5	事業費	(1) 予算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 1,288,000円 合計 1,588,000円 (支出) イベント費 1,335,000円 運営費 253,000円 合計 1,588,000円
		(2) 決算額	(収入) 10周年補助金 300,000円 その他の収入 1,070,000円 合計 1,370,000円 (支出) イベント費 1,157,766円 運営費 430,234円 合計 1,370,000円
		うち補助対象経費	1,283,192円
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 平成27年4月1日(水)～11月15日(日)(コンサート開催)、不二輸送機ホール 大ホール</p> <p>(2) 対象者・参加人数 参加者：出演者57名・スタッフ22名 計79人、来場者：326人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 「山陽小野田 smile プロジェクト」と、「竜王太鼓保存会」、「ONODAガラスアンサンブル」が協同して実行委員会を立ち上げ、企画・運営を行った。舞台進行・構成等は、各出演団体の代表者が協議した。当日(11/15)のスタッフは各団体関係者や地域のボランティアに依頼した。 4月 第1回実行委員会(13日) 作曲依頼、曲目選考、舞台構成の決定 5月 第2回実行委員会(15日) 楽曲練習の開始 6月 実行委員会(4日、19日) チラシ・ポスターの企画 7月 実行委員会(3日) 8月 合同練習会(9日、23日) チラシ・ポスター作成 9月 舞台詳細打ち合わせ(14日) チケット販売開始 合同練習会(13日) 10月 合同練習会(11日、18日、28日) 11月 合同練習会(8日) 11月14日(土) 舞台設営及びリハーサル 11月15日(日) コンサート開催</p> <p>(4) 成果・効果 山陽小野田市を拠点として、それぞれ地域に根づいた音楽活動を行っているジャンルの違う団体が、山陽小野田市誕生10周年記念事業コンサートとして、一丸となって一つの舞台を創り上げた。 今回の事業を通して、新たな絆が生まれ、今後も互いに協力し合い、末永く伝承していきたい音楽ができた。 山陽小野田市誕生10周年記念委嘱作品「山陽小野田物語の第3楽章 山陽小野田風物詩」を来場者の方にも一緒に歌っていただき、会場いっぱいに歌声が響き、盛大な拍手をいただくことができた。この曲は、歌いやすく、山陽小野田の特徴を生かして創られた曲なので、今後、当団体でも機会があるごとに、歌い継いでいこうと思っている。</p>	

With～心と音をつないで～



〈高泊たけの子オーケストラ〉



〈山口伝承センター箏教室〉



〈ONODAグラスアンサンブル〉



〈竜王太鼓保存会〉



〈太鼓とガラスのコラボレーション〉



〈山陽小野田物語を披露〉

山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 社会教育課 〕

1	事業名	花いっぱい運動事業
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	「花いっぱい運動」で養った花への親しみをより多くの市民に対して広めるとともに、市民自らが花を育てその種子を次代に繋いでいく事で、まちへの愛着や緑化意識の高揚を図り、全市民で花があふれるまちづくりに取り組む
4	(1) 内容	市民に対し、種子を無料提供し、育ててもらう。また、開花後に採取した種子の一部を善意で返却してもらうことにより、10周年のひまわりとして次代の緑化活動に繋げていく。
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	
5	(1) 予算額	総事業費 108,000 円 内訳 需用費(消耗品費) 108,000 円
	(2) 決算見込額	総事業費 97,620 円 内訳 需用費(消耗品費) 97,620 円
6	(1) 日時・場所	種の配布 6月1日～6月30日 種の回収 9月1日～10月30日 190号線中央分離帯 種の播種 6月25日
	(2) 対象者・参加人数	ひまわりの種配布人数 小・中学校 5,300人 公民館等窓口 5,000人
	(3) 具体的な内容・状況	ひまわりの種を小中学校全児童・生徒に配布し、また、地域の住民向けに公民館に種を配置し、育てていただいた。 メールで送っていただいた開花の様子を、フェイスブックに掲載することで運動の周知に努めた。
	(4) 成果・効果	10月に種のおすそ分けを呼びかけたところ、配布した以上の種が回収できた。 また、世界ジャンボリーのスカウト歓迎のため、管理会社である(株)晃栄の協力を得て市役所裏の190号線の中央分離帯に、日の出幼稚園の園児や地域団体(ふるさと・女性会)に協力していただいて、ひまわりの種をまき、ひまわりロードをつくり、ジャンボリーの歓待ムードを盛り上げることができた。
7	その他(今後の取組など)	今回提供していただいた種を、来年度も小・中学校や公民館に配布し、ひまわりの花による花いっぱい運動を次の20周年に向けて継続・拡大していく。その中で、ひまわりロードのような市民との協働の企画を実施していきたい。

## 花いっぱい運動事業



190号線中央分離帯での播種



ひまわりの種贈呈式（厚陽小・中学校）



花いっぱい運動呼びかけ用ポスター



中央分離帯での開花の様子



市民の方から送っていただいた開花の様子



山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 成長戦略室 〕

1 事業名	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業												
2 市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる												
3 事業の目的	本市では、文化・スポーツによるまちづくりの中心的な事業の一つとして、子供たちが夢をもつことのすばらしさや夢の実現に向かっていこうとする気持ちを育てることを目的に本事業に参加する。												
4 事業の概要	(1) 内容 サッカー及び他種目の現役選手やOB/OGを夢先生として、中学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行う。 1回(95分)で、学校の授業2コマ分を活用して実施。 前半(35分):ゲームの時間では、体育館で体を動かす。 後半(60分):トークの時間では、夢先生の経験等を聞く。 最後は、みんなで集合写真を撮り、後日、夢について書いた夢シートに、夢先生が返事を書いて生徒に渡す。												
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など) 各中学校と時間調整を行い、事業実施した。												
5 事業費	(1) 予算額 総事業費 3,083 千円 ・委託料: 3,083 千円												
	(2) 決算見込額 総事業費 3,083 千円 ・委託料: 3,083 千円												
6 実施状況	<p>(1) 日時・場所</p> <table border="0"> <tr> <td>6月12日(金) 厚陽中学校</td> <td>7月7日(火) 竜王中学校</td> </tr> <tr> <td>6月29日(月) 高千帆中学校</td> <td>7月8日(水) 竜王中学校</td> </tr> <tr> <td>6月30日(火) 高千帆中学校</td> <td>7月9日(木) 埴生中学校</td> </tr> <tr> <td>7月1日(水) 高千帆中学校</td> <td>7月13日(月) 厚狭中学校</td> </tr> <tr> <td>7月2日(木) 小野田中学校</td> <td>7月14日(火) 厚狭中学校</td> </tr> <tr> <td>7月3日(金) 小野田中学校</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 対象者・参加人数 対 象: 市内全中学2年生 参加人数: 約550人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 ・事前にスタッフと学校担当者と日程や、生徒たちへの注意点など細部に渡って確認し、当日、夢先生、アシスタント、スタッフの3名で実施する。 ・生徒たちも、日頃触れ合う事のない夢先生と、楽しく授業に参加していた。 ・松原分校にも、夢先生に訪問してもらい、生徒と交流を行った。</p> <p>(4) 成果・効果 事業実施後に、各中学校の校長、教頭、担当の先生にアンケートしたところ、ほぼすべての方が、継続実施を希望している結果となった。また、生徒たちの夢シートも、日頃相談できないことなどが書かれていて、将来を考える良いきっかけとなったと思われる。</p>	6月12日(金) 厚陽中学校	7月7日(火) 竜王中学校	6月29日(月) 高千帆中学校	7月8日(水) 竜王中学校	6月30日(火) 高千帆中学校	7月9日(木) 埴生中学校	7月1日(水) 高千帆中学校	7月13日(月) 厚狭中学校	7月2日(木) 小野田中学校	7月14日(火) 厚狭中学校	7月3日(金) 小野田中学校	
6月12日(金) 厚陽中学校	7月7日(火) 竜王中学校												
6月29日(月) 高千帆中学校	7月8日(水) 竜王中学校												
6月30日(火) 高千帆中学校	7月9日(木) 埴生中学校												
7月1日(水) 高千帆中学校	7月13日(月) 厚狭中学校												
7月2日(木) 小野田中学校	7月14日(火) 厚狭中学校												
7月3日(金) 小野田中学校													
7 その他(今後の取組など)	今後も、市内全中学2年生を対象に実施していきたいと考えている。												

## JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業



山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 歴史民俗資料館 〕

1	事業名	特別展『幕末の女と男 山陽小野田編』
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	幕末・維新时期における本市ゆかりの人物を取り上げ、歴史を振り返ることで、将来に向かって市民一体となったまちづくりに繋がる記念事業の一環として開催する。
4	(1) 内容	第1弾「男たちの決意」 山陽小野田市ゆかりの男性にスポットをあてる。 第2弾「幕末の女子力」 山陽小野田市ゆかりの女性にスポットをあてる。 記念講演会・ギャラリートーク
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	<後援> 山陽小野田観光協会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tys テレビ山口、yab山口朝日放送、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、宇部日報社、山口新聞、FMサンサンきらら <企画展協力館(資料調査・借用先)> 松陰神社(萩市)、山口県立山口博物館(山口市)、山口県文書館(山口市)、下関市立長府博物館(下関市)、美祢市歴史民俗資料館(美祢市)、美祢市立美祢図書館(美祢市)、西園寺(美祢市)、山陽小野田市厚狭図書館(山陽小野田市)、山口県立厚狭高等学校(山陽小野田市)
5	(1) 予算額	総事業費 950,000円 <主な収入> 入場料 450,000円、叢書売上料 100,000円 <支出> 旅費 6,000円 需用費 240,000円(消耗品費、印刷製本費) 役務費 90,000円(通信運搬費、手数料) 委託料 614,000円(運送等業務)
	(2) 決算見込額	総事業費 931,138円 <主な収入> 入場料 86,300円、叢書売上料 15,900円 <支出> 旅費 5,200円 需用費 239,874円(消耗品費、印刷製本費) 役務費 90,000円(通信運搬費、手数料) 委託料 596,064円(運送等業務)
6	(1) 日時・場所	平成27年6月26日(金)～11月1日(日)・歴史民俗資料館2階 ・第1弾「男たちの決意」6月26日(金)～8月23日(日) ・第2弾「幕末の女子力」9月11日(金)～11月1日(日) ・記念講演会『激動の時代～その時、又兵衛は～』7月24日(金) ・ギャラリートーク 6/26(金)、7/11(土)、7/29(水)、8/8(土)
	(2) 対象者・参加人数	入場者 第1弾 1,411人/49日・第2弾 1,052人/41日 記念講演会 222人、ギャラリートーク 31人
	(3) 具体的な内容・状況	第1弾：第1章 来嶋又兵衛・第2章 前原一誠・第3章 厚狭毛利家 第1章、第2章では、それぞれの生涯をつうじて、人となりをはじめ、藩役人時代の仕事、人とのつながりを紹介していった。 第3章では、毛利家一門厚狭毛利家の幕末の動きを古文書・古記録を通じてみていった。 第1章から第3章を見ることで、幕末長州の通史的理解を深めることができる展覧会となった。 第2弾：山陽小野田市ゆかりの女性にスポットをあてた。 第1章 毛利勲子・第2章 千林尼 山陽小野田ゆかりの幕末に生きた二人の女性が今に何を遺したかを見ていく展覧会となった。
	(4) 成果・効果	看板等の作成により目立つPRが広くでき、はじめて歴史民俗資料館に来館する人が多かった。また、アンケートで、「山陽小野田市にも大河ドラマに出るような有名人がいた事を知ることができてよかった」「歴史に興味をわいた」「次回の企画展が楽しみ」といった意見が寄せられており、今後の集客に繋がる効果があったと考える。
7	その他(今後の取組など)	特別展終了後、第1弾成果の一部を常設展示にしたほか、第2弾成果の一部を期間限定の特設コーナーで展示した。 28年度も、「くらしの中の紋様展(仮)」や「中世古文書展(仮)」といった企画展を開催する中で、山陽小野田市の歴史や文化を、より市民が身近に感じ、誇りと思えるよう努めたい。

# 特別展『幕末の女と男 山陽小野田編』



第1弾「男たちの決意」会場風景



第1弾「男たちの決意」会場風景



記念講演会



ギャラリートーク



第2弾「幕末の女子力」会場風景



第2弾「幕末の女子力」会場風景

## 山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 成長戦略室文化会館 〕

1	<b>事業名</b>	セルゲイ・ナカリャコフリサイタル
2	<b>市誕生10周年の趣旨</b>	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる
3	<b>事業の目的</b>	市誕生10周年を記念した事業として、世界的に有名なトランペッターのセルゲイ・ナカリャコフを迎え、リサイタルを実施することで、市民の一体感の醸成を図る。
4	(1) <b>内容</b>	不二輸送機ホール大ホールにてセルゲイ・ナカリャコフとヴェラ・アホトニコワによるリサイタルを開催した。
	(2) <b>実施体制</b> (共催・後援・協力団体など)	共催：山陽小野田市文化協会 後援：tys テレビ山口・宇部日報社・FMサンサンきらら・小野田音楽連盟・山口県吹奏楽連盟・厚狭地区吹奏楽連盟
5	(1) <b>予算額</b>	総事業費 3,520,000円 需用費 60,000円 (消耗品費) 役務費 195,000円 (通信運搬費、広告料、手数料) 委託料 3,245,000円 (公演料ほか) 使用料 20,000円 (著作権使用料)
	(2) <b>決算見込額</b>	総事業費 3,463,603円 報償費 40,027円 需用費 48,372円 (消耗品費ほか) 役務費 186,348円 (通信運搬費、広告料、手数料) 委託料 3,180,800円 (公演料ほか) 使用料 8,056円 (著作権使用料)
6	<b>実施状況</b>	(1) <b>日時・場所</b> 日時：平成27年7月5日(日) 開場 14:30 開演 15:00 場所：不二輸送機ホール (2) <b>対象者・参加人数</b> 出演者：演奏者2名、譜めくり1名 入場者：447名 (3) <b>具体的な内容・状況</b> 出演：セルゲイ・ナカリャコフ(トランペット)、ヴェラ・アホトニコワ(ピアノ) 曲目：T.タタリノヴァ「ロシア民謡の様式による組曲」、R.シューマン「アダージョとアレグロ Op.70」、B.バルトーク「ルーマニア民族舞曲」ほか 「第6回現代ガラス展 in 山陽小野田」と連携し、「グラスマリンバ」(鍵盤がガラス製のマリンバ風の楽器)によるロビーコンサートや関連ガラス作品の展示及びパネル展示、また、公演後に出演者と地元学生との交流会を行った。 (4) <b>成果・効果</b> 華々しいリサイタルを開催することで、市誕生10周年を盛大に祝うことができた。公演後のアンケートによると、市外・県外からも多数来場され、89%の人が今回の公演に満足したとの回答を得た。
7	<b>その他(今後の取組など)</b>	今後も芸術文化鑑賞機会の充実による文化の向上や市民の一体感の醸成を図る。

# セルゲイ・ナカリャコフリサイタル

(公演)



(ロビーコンサート)



(交流会)



山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 高齢福祉課 〕

1 事業名	第28回全国健康福祉祭山口大会山陽小野田市特別表彰事業
2 市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる
3 事業の目的	第28回全国健康福祉祭山口大会(ねんりんピックおいでませ！山口2015)開催時において山陽小野田市誕生10周年の知名度アップを図る。
4 事業の概要	(1) 内容 ねんりんピックサッカー交流大会開始式会場において、市制施行日の3月22日生まれの方に山陽小野田市特別表彰を行う。
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など) 主催：厚生労働省 山口県 一般財団法人長寿社会開発センター ねんりんピックおいでませ！山口2015実行委員会 山陽小野田市 ねんりんピックおいでませ！山口2015山陽小野田市実行委員会 下関市 ねんりんピックおいでませ！山口2015下関市実行委員会 山口市 ねんりんピックおいでませ！山口2015山口市実行委員会 主管：一般社団法人山口県サッカー協会 後援：公益財団法人日本サッカー協会
5 事業費	(1) 予算額 総事業費 50,000円 報償費 50,000円(賞賜金)
	(2) 決算見込額 総事業費 32,400円 報償費 32,400円(賞賜金)
6 実施状況	(1) 日時・場所 平成27年10月17日(土) 16時10分～ 山陽小野田市民館体育ホール
	(2) 対象者・参加人数 山陽小野田市特別表彰者 1名(福島県、男性) 参加人数 1,100名(44都道府県、16政令指定都市、63チーム)
	(3) 具体的な内容・状況 ねんりんピックサッカー交流大会に出場された選手のうち、3月22日に生まれた方に対し、山陽小野田市特別表彰を行い、記念品として市内在住のガラス造形作家が作成したガラス工芸品を贈呈した。
	(4) 成果・効果 開始式には、全国から1,000名を超える選手が出席し、山陽小野田市の知名度アップにつながった。
7 その他(今後の取組など)	

## 第28回全国健康福祉祭山口大会山陽小野田市特別表彰事業

表彰の様子①



表彰の様子②



会場の様子



ねたろう君・ちよるる登場



山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔社会教育課〕

1 事業名	ぐるーっと山陽小野田ウォーク
2 市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる
3 事業の目的	歩きながら、観て、聞いて、触れて、味わう。これらの相乗効果で、合併10周年を迎える旧市町の風土、歴史、自然など相互理解を深め、一体感を醸成する。
4 事業の概要	(1) 内容 旧市町の風土、歴史、自然など相互理解を深めることができるよう、3回に分け、市内の名所、史跡を、山陽小野田語り部の会の方の解説を聞きながら、「ぐるーっと」歩いてまわり、各地域の魅力、美しい風景、歴史を再発見してもらう。各コース12km。
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など) <共催> 山陽小野田観光協会 <協力団体> 山陽小野田語り部の会
5 事業費	(1) 予算額 総事業費 150,000円 <主な収入> 参加料 30,000円 <支出> 報償費 60,000円(謝礼) 需要費 60,000円(印刷製本費) 役務費 30,000円(保険料)
	(2) 決算見込額 総事業費 105,382円 <主な収入> 参加料 11,900円 <支出> 報償費 50,000円(謝礼) 需要費 51,300円(消耗品費) 役務費 4,082円(保険料)
6 実施状況	(1) 日時・場所 第1弾：10月24日(土) 第2弾：11月7日(土) 第3弾：12月6日(日) (2) 対象者・参加人数 第1弾：30人 第2弾：36人 第3弾：53人 (3) 具体的な内容・状況 第1弾：「近代化産業遺産と木戸刈屋道」コース 「木戸刈屋道」や近代化産業遺産をめぐりながら、小野田の街の魅力を再確認する。(旦の一里塚・旦の登り窯・山手倶楽部・徳利窯・赤崎神社など) 第2弾：「開作と寝太郎」コース 開作の遺跡と寝太郎物語が残る千町ヶ原をめぐる。(浜五挺唐樋・勘場屋敷・二挺唐樋・吉部田八幡宮・寝太郎荒神社など) 第3弾：「山陽道と厚狭毛利家」コース 厚狭毛利家を偲びつつ「旧山陽道」や「埴生道」を歩き、厚狭や埴生の街の魅力を再確認する。(鴨神社・厚狭高等学校南校舎・洞玄寺・七日町道標・糸根神社など) (4) 成果・効果 歩きながら、観て、聞いて、触れて、味わう。これらの相乗効果で、郷土への理解を深めることができ、市外の参加者には当市の魅力をアピールできた。また、小野田線や山陽本線をルートに取り込むことによって、それらの利用促進につながった。
7 その他(今後の取組など)	28年度も、ふるさと文化遺産を活用したウォーキングを開催するなど、郷土愛の醸成や市の魅力アップを目指し、公民館や観光協会と連携しながら様々な取組を進めたい。

## ぐるーっと山陽小野田ウォーク

### 第1弾：「近代化産業遺産と木戸刈屋道」コース



### 第2弾：「開作と寝太郎」コース



### 第3弾：「山陽道と厚狭毛利家」コース



山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 総務課 〕

1	事業名	出張！なんでも鑑定団 in 山陽小野田
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成 ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	開運なんでも鑑定団は、テレビ東京をキーステーションに全国37局とBSジャパンで放送されている人気バラエティである。当該番組を本市の招聘し、公開収録を行って全国放送することで、本市の魅力在全国に発信する。
4	(1) 内容	「出張！なんでも鑑定団」の公開収録を不二輸送機ホールの大ホールで行った。鑑定士3人、司会者1人、アシスタント1人を迎え、6人の鑑定依頼人が出場した。
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	後援：山陽小野田観光協会、KRY山口放送
5	(1) 予算額	総事業費 832,000円 需用費 243,000円 (消耗品費、印刷製本費) 役務費 562,000円 (広告料、手数料) 委託料 27,000円 (音響照明委託料)
	(2) 決算見込額	総事業費 824,332円 需用費 257,332円 (消耗品費、印刷製本費) 役務費 432,000円 (広告料) 委託料 135,000円 (音響照明委託料)
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 平成27年11月1日(日)13時30分開場、14時30分開演、16時30分終演 不二輸送機ホール</p> <p>(2) 対象者・参加人数 鑑定依頼人6人(市内1人、市外4人、県外1人) 観覧予定数379通(1通当たり2人まで観覧可能)、当日入場は約700人。 鑑定士3人(安河内眞美さん、増田孝さん、森由美さん) 司会者1人(原口あきまささん)、アシスタント1人(新妻さと子さん) 運営スタッフ29人</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 番組収録に係る打合せ：5/14・9/29(番組制作会社、総務課、観光課、文化会館) 鑑定出場者募集：7/1～8/31、応募総数347点(215人) 観覧募集：7/1～10/2、応募総数1,809通(当選379通、当選率21%) スポットCM：7/8～10/1(KRY山口放送) 鑑定品：①九谷焼の大鉢、②酒井抱一の掛軸、③大久保利通の書、④川端玉章の絵、 ⑤高杉晋作の書、⑥染付大皿 以上6点</p> <p>(4) 成果・効果 収録は鑑定品一つにつき15分で、司会者と鑑定依頼人のコミカルな問答などで、会場は大いに盛り上がった。 収録の様子は、12月12日(12時～13時)にKRYテレビ山口で放送された。 コーナーの前に山陽小野田市の紹介映像が放映され、本市の知名度アップにつながった。 当日は、観光協会が会場ロビーで本市の観光名産品の紹介・販売を実施し、大変好評だった。 市誕生10周年事業として非常に有効であったと考える。</p>
7	その他(今後の取組など)	今後も、周年記念行事の折には、同種の公開収録番組を是非招聘したいと考える。

## 出張！なんでも鑑定団 in 山陽小野田



〈満員の会場〉



〈会場の様子〉



〈驚きの鑑定結果〉



〈司会者と鑑定依頼人のコミカルな問答〉



〈鑑定士によるお宝の説明〉



〈本市の観光名産品の紹介・販売〉

山陽小野田市誕生10周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 健康増進課 〕

1 事業名	第6回SOS健康フェスタ	
2 市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる	
3 事業の目的	山陽小野田市SOS健康づくり計画（平成20年度策定）に基づき、市民みんなが、安心して、健康な生活を送ることができるまちの実現にむけて、SOS健康づくり計画運営委員会（かたつむりで行こう会）、健康・情報ステーション、健康づくり推進協議会等の活動と協働し、保健事業の推進を行っている。各関係団体の活動の集大成として、広く市民に普及啓発をするとともに、市民一人ひとりが健康について考えるきっかけとなる健康フェスタを年1回開催している。今年度は市誕生10周年記念として、記念講演を実施した。	
4 事業の概要	(1) 内容	健康づくりに関係する様々な団体が、それぞれが持つ役割や特徴を生かして、各種相談や活動紹介などを通じて、健康づくりの意識の向上を図る。
	(2) 実施体制 （共催・後援・協力団体など）	主催：SOS健康づくり計画運営委員会    共催：山陽小野田市 協力：山陽小野田市健康づくり推進協議会 SOS健康・情報ステーション
5 事業費	(1) 予算額	報償費（10周年記念講演） 30,000円
	(2) 決算見込額	報償費（10周年記念講演） 20,000円
6 実施状況	(1) 日時・場所 平成27年11月15日(日)9時30分から15時まで 市民館及び市民体育館 (2) 対象者・参加人数 対象者：市民 来場者1,800人（記念講演参加者 50人） (3) 具体的な内容・状況 平成27年4～10月 月1回会議（健康フェスタに関する内容協議、決定） 平成27年4月出展団体募集 8月、10月出展団体説明会実施 平成27年7月絵画、川柳募集 10月ポスター配布、広報、FMサンサンきららにてPR 参加団体：57団体 学生ボランティア39名 出展内容：血管年齢測定、フッ素塗布、レク式体力チェック、ウォーキング、ハイハイレース、絵画・川柳表彰式、講演会等 (4) 成果・効果 来場者数が去年の1.5倍と子どもから高齢者まで多くの市民の方で賑わい、様々なブースで健康に関する体験、測定等を実施し、大変好評であった。一方、記念講演については、市民館文化ホールで実施したが、思うように足を運ばれない状況であり、周知方法に課題が残った。	
7 その他（今後の取組など）	今後も健康フェスタとしては、年1回実施する予定。	

# 「第6回SOS健康フェスタ」

【講演会の様子】



【出展団体ブースの様子】



【ハイハイレースの様子】



## 山陽小野田市誕生 10 周年記念市主催事業 実施報告書

事業所管課〔 成長戦略室文化会館 〕

1	事業名	NHK公開番組「NHKのど自慢」
2	市誕生10周年の趣旨	①一体感の醸成      ②躍動感あふれるまちづくり ③知名度アップ      ④10年の軌跡をたどる
3	事業の目的	市民に質の高い芸術文化に接する機会を提供するとともに、山陽小野田市を全国に発信していく。また、市誕生10周年として市民の一体感の醸成を図る。
4	(1) 内容	不二輸送機ホール大ホールにてNHK公開番組「NHKのど自慢」を実施した。
	(2) 実施体制 (共催・後援・協力団体など)	主催：NHK山口放送局、山陽小野田市
5	(1) 予算額	総事業費 260,000 円 需用費 30,000 円 (消耗品費) 委託料 230,000 円 (舞台等管理委託料)
	(2) 決算見込額	総事業費 232,240 円 需用費 30,240 円 (印刷製本費) 委託料 202,000 円 (舞台等管理委託料ほか)
6	実施状況	<p>(1) 日時・場所 日時：平成 27 年 11 月 22 日 (日) 開場 11:00 開演 11:45 場所：不二輸送機ホール</p> <p>(2) 対象者・参加人数 司会者：1 名 ゲスト：2 名 出場者：29 名 観覧者：601 名</p> <p>(3) 具体的な内容・状況 不二輸送機ホールにて平成 27 年 11 月 21 日 (土) に 250 組による予選会を行い、選出された 20 組が平成 27 年 11 月 22 日 (日) に公開番組「NHKのど自慢」へ出場。ゲストは細川たかしさん、森昌子さん、司会は小田切千アナウンサー。番組はNHK総合テレビ・ラジオ第1・国際放送で同日 12:15～13:00 に生放送された。また、予選会の模様は平成 27 年 12 月 7 日 (月) 0:55 からNHK総合テレビで山口県内向けに放送された。</p> <p>(4) 成果・効果 出場の申込は 833 通、観覧の申込は 3013 通の応募があり、市外、県外からの応募も数多く見られた。市誕生 10 周年を祝うための気運を高揚させ、市民の一体感を醸成するとともに、山陽小野田市を全国に発信することができた。</p>
7	その他 (今後の取組など)	今後も芸術文化鑑賞機会の充実による文化の向上や市民の一体感の醸成を図る。

# NHKのど自慢



〈予選会会場の様子〉



〈小ホールで観覧〉



〈ロビーに設置されたモニター〉



〈ロビーでの物販〉



〈開始前にあいさつする市長〉



〈本選の様子〉